

鎌倉市総合防災訓練

平成二十九年八月二十四日(木)、快晴の下、松尾崇鎌倉市長が主催する総合防災訓練が鎌倉市山崎浄化センターにおいて行われました。最近、自然災害等が頻発していることから防災訓練への関心も非常に高い中、陸自第三十一普通科連隊をはじめとする十八機関・団体、及び多くの市民の皆様、計約六百五十名が参加されていました。

訓練は約一時間三十分に行われ、次のような項目で実施されました。

- 一 一斉シェイクアウト訓練(地震発生を想定した各個人が行う安全確保行動)
- 二 災害情報収集訓練(被害状況等の情報収集訓練)
- 三 ペット同伴避難等対応訓練
- 四 土のう製作訓練
- 五 道路啓開訓練
- 六 応急復旧訓練(ライフライン応急復旧、応急給水訓練等)
- 七 救出、救助訓練、消火訓練(ドローンによる情報収集活動等)
- 八 災害対策本部長あいさつ(鎌倉市長)

災害発生に取り組む鎌倉市の姿勢を強く感じ取ることができた訓練でした。併せて、第三十一普通科連隊による炊き出し訓練も行われ、

豚汁を試食することができました。



訓練参加機関に対して
挨拶する松尾鎌倉市長

なお、本訓練には横須賀支部長と防災安全委員会の石原清副支部長が参列する機会を得ました。また、支部特別会員の「山本朋広防衛副大臣兼内閣府副大臣」、支部特別会員の「中村省司神奈川県議会議員」、支部特別会員の「根津良蔵鎌倉防衛協会会長」も参加されていました。

因みに、横須賀支部と鎌倉市は平成二十七年五月二十五日に「大規模災害時における支援協力に関する協定」を締結しており、定期的な情報伝達訓練を行うこととなっており、災害発生時に適切に情報を伝達できる態勢を構築しています。現在、鎌倉地区では情報協力員として八

名(角田晶生氏、塚本義彦氏、檜森晃治氏、宮浦弘兒氏、岩澤貞義氏、濱田暢喜氏、藤本功氏、根津良蔵氏)を指定させて頂いています。情報協力員として新たに活動して頂ける方は、横須賀支部までご一報をお願い致します。



佐々木支部長 石原副支部長
山本防衛副大臣

横須賀支部長 佐々木俊也